

登録地域建造物資産



第43号

御菓子司 菊屋茂富

おんかしし きくやしげとみ

所在地	緑区鳴海町字相原町28
年代	昭和元年築
用途	店舗

この建物は旧東海道では珍しい「曲尺之手(かねのて)」になった町境萬福寺への参道入口に建ち、店は安政年間創業、昭和初年(1926年)に建て替えられました。日本建築の特徴は屋根、ここの見どころは謎めいた三つの紋。まず店名「菊屋茂富」なのに「亀」のような紋鬼瓦の紋は「鶴」です。そして参道奥に魅力的な古い土蔵があり、その奥棟の鬼瓦は「ヤマにキ」の紋です。また棟瓦を3本の漆喰で固められています。謎を解く鍵はお店でどうぞ。

